

TOEFL iBT®テスト概要

TOEFL®テストは、米国非営利教育団体ETSが1964年に英語を母語としない人々を対象に開発した世界基準の英語能力測定試験で、これまでに世界で延べ3,500万人以上、日本では2000年のCBTテスト導入以降、受験者は100万人を超えています。現在TOEFL iBT®テストのスコアは、160か国、11,500以上の大学・大学院、その他の機関で、入学選考、奨学金選考、海外派遣選考や単位認定など様々な目的における英語力の証明として活用されています。

5つの特徴

TOEFL iBT®テスト ～世界で学べる英語力のスタンダード～

01



世界中で実績のある英語能力測定試験

02



英語で学ぶ力を測るアカデミックな内容

03



様々な目的でグローバルに活用できるスコア

04



コンピュータ受験による信頼性の高いテストと公平な採点

05



CEFRに連動したスコア型4技能テスト

テスト構成

- ✓セクション：Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション
- ✓テスト時間：約3時間
- ✓スコア：0-120（各セクション0-30）

Reading* 54 - 72分	アカデミックな長文読解問題（1パッセージ約700語） ・自然科学、社会科学、芸術など幅広い分野の教養科目を題材に出題	問題数：3または4パッセージ 設問数：各10問
Listening* 41 - 57分	講義と会話の2種類で構成 ・幅広い分野の教養科目を題材とした講義 ・教授と学生、大学職員と学生、学生同士などの会話	【講義】問題数：3または4題 設問数：各6問 【会話】問題数：2または3題 設問数：各5問

休憩 10分

Speaking 17分 マイクを通して解答音声を録音	【Independent task】 身近なトピックについて意見を述べる 【Integrated tasks】 読んだり聞いたりした内容を要約して話す	問題数：1問 Speak 準備15秒 解答45秒 問題数：3問 1) Read + Listen → Speak 2問 準備30秒 解答60秒 2) Listen → Speak 1問 準備20秒 解答60秒
Writing 50分 タイピングで解答	【Integrated task】 読んで聞いた内容を要約してエッセイ形式で書く (150~225 words) 【Independent task】 設問に対する自分の意見を書く (300 words以上)	問題数：1問 Read+Listen → Write 時間：20分 問題数：1問 Write 時間：30分

* ReadingもしくはListeningセクションでは、スコアに加算されないサンプル問題が含まれる場合があります。これらの設問は、ETSが毎回同程度の基準でスコアを評価できるようテストを管理したり、新しいタイプの設問が実際のテスト環境でどのように機能するかを確認するためのものです。

スコア

✓スコアスケール

✓スコアの有効期間

✓スコアの種類

✓スコアレポートの種類

✓スコアの確認

✓PDF版のダウンロード

各セクション0-30、総合スコア0-120

テスト日から2年間

・Test Dateスコア テスト日の試験結果

・MyBest™スコア 受験者の過去2年間の有効な全てのTOEFL iBTテストスコアから各セクションの最も高いスコアを組み合わせたスコアのこと。2019年8月1日以降に発行される全てのTOEFL iBTテストスコアレポートには、毎回、各テスト日の試験結果（Test Dateスコア）とMyBestスコアが自動的に掲載される。

・Institutional Score Report 米国ETSから志望大学・団体に直接送付される公式スコアレポート

・Test Taker Score Report 受験者用控えのスコアレポート

テスト日から4-8日後にMy TOEFL Home上で確認 ※テスト終了時Reading・Listeningスコア(非公式)確認可

テスト日から4-8日後にMy TOEFL Home上でTest Taker Score ReportのPDF版のダウンロードが可能

スコアの目安：アメリカ留学の場合

大学学部 スコア61以上 大学院 スコア79-80以上

必要なスコアは大学や専攻分野により異なるので、詳しくは各大学の公式ウェブサイトからお調べください。

TOEFL iBTテストとCEFRとの関連性（CEFR = ヨーロッパ言語共通参照枠）

CEFR level	Reading (0-30)	Listening (0-30)	Speaking (0-30)	Writing (0-30)	Total (0-120)
C2	29	28	28	29	114
C1	24	22	25	24	95
B2	18	17	20	17	72
B1	4	9	16	13	42
A2	n/a	n/a	10	7	n/a

引用元：https://www.ets.org/toefl/score-users/scores-admissions/compare

✓Performance Descriptors for the TOEFL iBT® test

それぞれのスコアで求められる力をチェック！

レベルごとに受験者に期待される知識、スキル、能力は異なります。目標のスコアを獲得する上で何が足りていないのか、調べてみましょう。



受験日・会場

会場受験・自宅受験ともに受験日の約6か月前より受験申込が可能です。

受験日・会場の検索

会場受験の場合

全国各地の会場で実施されています(年間50日以上、土日に実施)。試験開始時間は、午前中が多いですが、土曜日は午後も行われており、午前午後合わせると年間で計80回以上実施されています。

自宅受験(TOEFL iBT®Edition)の場合

週4日、24時間体制(開始時間は空き状況に応じて10分毎の開始枠から受験者が自由に選択可)で実施されています。



受験料

会場受験・自宅受験ともに日本での受験料はUS\$245です。その他、Late Registrationやテスト日・会場変更などには費用が発生します。

申込手順

1. Bulletin (受験要綱) の確認

Bulletinは全世界共通です。受験者は必ず内容を確認してください。

2. 身分証明書 (ID) の準備

原則として、テスト当日に有効期限内のパスポート原本が必要です。パスポート以外の身分証明書としては、氏名・顔写真・署名が入った個人番号(マイナンバー)カード、運転免許証も有効です。

3. ETSアカウントの作成

ETSアカウントを作成します。アカウント作成後、会場・日程の確認、受験申込、申込テスト日の変更、キャンセル、テスト終了後のスコア確認ができます。

4. 【自宅受験者のみ】 使用機器と受験環境の準備

テスト当日に使用予定の機器と受験環境が、要件を満たしていることを確認します。要件をクリアしないまま自宅受験に臨んでしまうと、テスト開始時や受験中にエラーやトラブルが発生し、テストが最後まで完了しない場合があります。



準備すること

- ・デスクトップまたはノートパソコンを使用(タブレットまたはモバイルデバイスは使用不可)
- ・OSは、Windows 10、Mac OS X 10.15推奨
- ・ブラウザは最新版にアップデートしたGoogle Chrome推奨
- ・スピーカー・マイク・カメラはそれぞれPC内蔵(Built-in)または外付けタイプを使用(ヘッドセット、イヤホンは使用不可)
- ・上記の他、CPU、webcam、RAM、画面解像度等の要件あり
- ・受験環境の詳細は左のQRコードからご確認いただけます

5. 受験申込

ETSアカウントにログインして、希望の受験日、会場を探し、選択します。個人情報を入力し、クレジットカードまたはPayPalで受験料を支払います。

6. スコアレポートの送付手続

テスト前日の午後10時までに手続きをした場合、Official Score Reportsは4校(通)分、自宅へのTest Taker Score Report1通分を無料配送としてお申し込みできます。

Bulletin

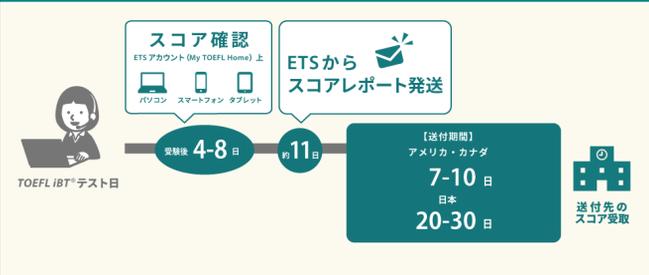


スコアレポートの送付

紙のスコアレポートは、事前に送付手続きをしている場合はテスト日の約11日後、有料（オンライン手続）の場合は、依頼受理後3～5営業日以内に米国ETSより発送されます。事前に送付手続きをしている場合でも、テスト日から受領まで通常配送で4～6週間かかります。

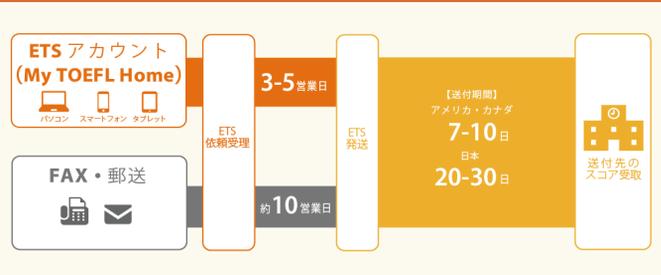
無料送付

テスト前日の午後10時までに手続した場合、Institutional Score Reportは4通、Test Taker Score Reportは1通まで無料で送付可能



有料送付

テスト受験後～スコア有効期間内（テスト日から2年間）であれば、何度でも送付可能（1通につきUS\$20）



Express Shipping (Test Taker Score Reportのみ適用) …スコアの採点～発送～到着まで、通常は「4～6週間」かかるところを「約2週間」に短縮できる有料速達サービスです。

【会場受験の方】前日～受験日の流れ

1. 受験日の前日

My TOEFL Homeにログインし、テスト開始時間・テスト会場を再確認

2. 受験日

✓当日の持参物

- ・規定の身分証明書 (ID)
- ・予約番号 (Appointment Number)
- ・テスト前日にMy TOEFL Homeの「今後のテスト (Upcoming Tests)」で確認した内容を印刷したもの

✓テスト開始時間の30分前にテスト会場に到着

遅刻した場合は受験できず、受験料の返金もありません。

✓チェックイン

身分証明書 (ID) の確認、写真撮影、誓約書への署名、セキュリティチェックなどが行われます。テスト当日に規定のIDを提示できない場合、受験はできません。

✓テスト開始直前に指定の席へ案内

テスト会場内へのID以外の持込は原則として禁止されています。

✓注意事項

- ・QWERTY配列の米国式キーボードを使用
- ・全セクションでメモをとることが可能
- ・問題が起きた場合は試験監督官に知らせる
- ・テスト終了時にReading・Listeningセクションスコア（非公式）が表示される
- ・テスト終了時に画面右上の「Cancel Scores」を選択すると、スコアの通知、スコアレポートの発行が行われないので注意
- ・15歳以下の受験者は保護者または18歳以上の大人の付き添いを推奨

会場受験の流れ



【自宅受験の方】前日～受験日の流れ

1. 受験日の前日

✓受験日の前日までにすること

- ①WindowsあるいはMac版のテストブラウザのダウンロード
- ②ChromeあるいはFirefoxのProctorU Extensionのダウンロード
- ③ProctorUシステムチェックの実施
- ④受験要綱(Bulletin)冊子と、受験日の流れを動画で確認

自宅受験の流れ



2. 受験日

*テストのカンニングや不正行為に使用できるとみなされてしまうアプリケーションソフトウェア（特にZoom®, Skype, TeamViewer®, Microsoft Teams® and Apple Remote Desktop™等）がバックグラウンドでもPC上で動いていると、テストを開始できません。チェックイン前に各アプリを終了する作業を必ず行ってください。

✓受験前に必ずご確認ください

- ・静かで明るい部屋を利用し、部屋の全ての扉を閉める
- ・テストブラウザ以外のアプリ、Webページは全て閉じる(左記※参照)
- ・テストで使用するPCのネット回線を他のデバイスと共有しない
- ・受験に必要な身分証明書、ノートテイキングアイテム机の上に並べる
- ・腕時計、ヘッドセット、イヤホン、帽子、マスクは外し、ドアホン(インターホン)の音を切っておく
- ・ペットを飼っている方、同居者がいる方は試験中の部屋に入らないようにする など

3. テスト受験

✓チェックイン(20分程度)

試験開始時間から12分以内にテストを開始するリンクをクリックし、オンライン試験監督者と英語でコミュニケーションを取りながら、本人確認、接続確認、受験環境の確認などを行う

✓テスト中

試験監督者がビデオカメラを介して受験者とコンピュータの画面を監視し、全てのテスト手順に従っていることを確認します。Listeningセクション後の10分間休憩は、席を離れることが可能です。受験が終わったら、チャットボックスを通じて試験監督者に試験が終了したことを知らせてください。

TOEFL iBT® Test Taker GUIDE

Bulletinだけでなく日本語版の受験案内もあわせて確認しましょう。本書には、日本におけるTOEFL iBTテスト受験に必要な情報が日本語でまとめられています。受験に向けてどのような準備が必要か具体的なイメージを掴むことができ、やるべきことが明確になります。



初受験の方へ

受験応援 8週間サポート

受験応援メールの定期配信(週1回)、The TOEFL iBT® Test Prep Planner冊子、受験案内冊子の無料配送(先着順)の特典つき!

ETS Japanでは初めてTOEFL iBT®テストを受験される方に、受験支援メール配信とTOEFL iBT® Test Prep Plannerの無料配送を行っています。
対策などに通わず、独学で勉強されている皆さん、「TOEFLの勉強は孤独・心配・不安...」と感じていませんか? 完全無料の8週間サポートを通じて、学習計画の立て方や、勉強に必要な情報の探し方をお手伝いします。目標スコア獲得に向けて受験日まで一緒に進んでいきましょう!



無料セミナー はじめてのTOEFL iBTテスト

まずは知ってから対策しよう! テストが分かる90分間のオンラインセミナー (アーカイブ配信あり)

TOEFL iBTテストをはじめて受験される方を対象とした、無料のオンラインセミナーです。テスト概要はもちろん、サンプルを使った問題演習、おすすめの勉強方法や具体的な学習・受験スケジュールの立て方を、TOEFLのスペシャリストが分かりやすく解説。「何から対策を始めたら良いか分からない」「受験準備に向けてアドバイスがほしい」そんな悩みをサポートします。



Free Practice Test & Practice Sets

米国ETSが公開している4セクションの過去問が収録された無料教材です。ダウンロード不要で全てPC上で解き進めることができます。Reading, Listeningのセクションは回答後に正解を確認でき、SpeakingとWritingのセクションではサンプル解答を聞く/読むことができますので、スコアアップのヒントとなるでしょう。Practice Setsの見た目は実際のテスト画面とは異なりますが(画像がない、Speaking音声がないなど)実際のテストで出題される問題や解答選択肢の種類や内容に慣れることができます。



スコアアップを目指す方へ

無料セミナー 目標スコア・セクション別対策

スコアアップへのヒントが盛りだくさん! 目標スコア別、スキル別の無料対策セミナーで、効果的な 学習方法がわかる (アーカイブ配信あり)

TOEFL iBTテストをはじめて受験される方を対象とした、無料のオンラインセミナーです。テスト概要はもちろん、サンプルを使った問題演習、おすすめの勉強方法や具体的な学習・受験スケジュールの立て方を、TOEFLのスペシャリストが分かりやすく解説。「何から対策を始めたら良いか分からない」「受験準備に向けてアドバイスがほしい」そんな悩みをサポートします。



TOEFL Web Magazine

新着の受験体験談や勉強アドバイス、学習ポイントの紹介など、効果的な自己学習のヒントが詰まったETS Japanのオウンドメディア

- **TOEFL Hack**
スコア100以上を達成した方々からのアドバイスや、TOEFL対策スクールの特徴、募集中のコースなどをご紹介。
- **質問箱**
TOEFL公認トレーナーとして活躍されている4名の先生方が、学習者からのよくある質問にわかりやすく回答。
- **受験体験談**
実際の受験者の体験レポートをお届け。学習のモチベーションアップに!
- **留学経験者インタビュー**
TOEFLテストを利用して留学された方々の、留学のきっかけ、留学先を選んだ理由などの実体験。



Prep Courses, MOOC

できるだけ独学で目標スコアを達成したい方におすすめの英語教材です。

- **Official TOEFL iBT® Prep Course**
- **edX TOEFL® Test Preparation: The Insider's Guide**
- **EdAgree Student Platform**



TOEFLテスト 公式教材ショップ

TOEFL iBTテストの過去問題で構成されている公式オンライン模試「TOEFL iBT® Complete Practice Test」を日本で唯一取り扱っています。その他、多数のETS公式教材を取り揃え、日本語での詳しい製品紹介に加え、ユーザーレビュー、FAQなどを掲載しています。



TOEFLテスト日本事務局 SNS



LINE @TOEFL



Twitter @TOEFL_Japan



YouTube @TOEFL



LinkedIn @ETSJapan



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

[TOEFL®テスト日本事務局] ETS Japan www.etsjapan.jp
東京オフィス: 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-24 トウラント88ビル4F
西日本オフィス: 〒606-8436 京都府京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館3F

ETS JapanはTOEFL® テストの開発・運営団体であるETSの日本での子会社として2021年5月に設立されました。2021年6月15日よりTOEFLテスト日本事務局として、TOEFL® テスト広報活動、TOEFL ITP® テストの運営、TOEFL® Practice Onlineを含むTOEFL®テスト公式準備教材、Criterion®の総合取扱機関として運営を行っています。本資料はTOEFL iBTテストの概要のみ記載しています。また、掲載内容は予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。